



たかまる通信 第5号

2004.8.9

討議資料

発行

福岡たかまる後援会

TEL0952-30-0555

e-mail takamaro@takamaro.jp

TODAY'S REPORT

特集

第二十回 参議院選挙

離れて見るじゃ、

見えてくるじゃ



TAKAMARO FUKUOKA

猛暑が続きます。「たかまる通信」も5号目をむかえました。

7月行われました参議院選挙では、皆様方のご協力を頂きまして佐賀選挙区では何とか自民の議席を確保でき、本当にありがとうございました。私自身も今回、選挙を支える側に回らせて頂いたことで、前回の衆議院選挙では分からなかったいろいろなことを勉強させて頂きました。

特に、集会や街頭演説、電話での呼びかけなどを行うにあたって、どれだけ多くの方が準備や連絡も含めてご尽力頂いているかを垣間見たとき、そのご恩に報いるためにも候補者は感謝の気持ちとより入念な準備をもって臨まなければいけないことを痛感しました。今回、当事者ではない立場で選挙を体験し見えてきたこと、この教訓を大切に日々の活動に邁進していきたいと思います。

参議院選挙を終えて 「自民党が真の国民政党となるために」

6月24日から、7月10日まで第20回参議院選挙が行われました。皆様から選挙区、比例区共に多くのご協力、ご支援を頂戴しましたことに心から感謝申し上げます。自民党にとって非常に厳しい結果となった今回の参議院選挙についてまとめたいと思います。

自民党は、この結果を謙虚に受け止めなければ

「今回は、自民党に票ば入れんやっただけね」。「私はもとから自民党。ばつてん自民党ば好いとつからこそ、自民党に入るっわけに

はいかんやっただけ。

参議院選挙が終わってからの、どれだけ多くの方々にごこのような言葉を頂いたことか。自民党本部も、今回自民党支持層の四割近くが自民党に投票をしていないと分析しています。この結果を有権者からの非常に重いメッセージとして謙虚に受け止め、国民政党として更なる党内改革に努めていかなければ、近いうちに民主党に政権を奪われてしまいかねません。

自民党の理念の一つに「わが党は、国民とともに未来に向けてつねに改革を進める、開かれた民主的な政党である」とあります。これをどれだけ実践できるかが、自民党の命運を握ると思います。とくに、「広く国民の方々の声を聞く」こと、「議論の過程や情報をオープンにすること」など国民に開かれた政党へ生まれ変わることが喫緊の課題です。

今回の参院選では、年金問題やイラク多国籍軍への自衛隊派遣などが争点の一つとして取り上げられました。これらの政策的賛否があるのは当然ですが、年金で言えば強行採決や出生率に関する情報の後出し、イラクに関しては国内のコンセンサス不足など、今回はその政策決定のプロセスや不透明さに対してのご批判を多々頂いたと感じています。ですから民主党に投票した方の中には、その政策を支持すると言うよりも自民党にお灸を据える意味合いの方がたくさんいらっしゃる。「最近の自民は強引だ」、「自民党が、以前よりも遠くに感じる」といった声が増えているのに対して、私たちは日頃から

国民の皆様方と接触し、そして議論する中でご理解を得ていかなければならないと考えています。

参院選の争点について

民主党の攻勢の前に自民党は守勢一方で、十分な説明ができなかったように思います。

年金問題では、高度経済成長が終焉し、少子高齢化が進む中、納付と給付のバランスをとらなければシステムが破たんするのは誰の目にも明らかです。その中で、どのような年金システムがいいのか。もう少し議論を積み重ねる必要があるのではないのでしょうか。民主党が提案する二元化案についても、具体的な数字がはつきりしない。今回の年金改正法で現行システムの歪みがある程度補正したわけですから、医療保険や介護保険も含めた社会保障全般のあり方について、数年かけてでも与野党で腰を据えて議論を深めていくって欲しいと思います。そして民主党は三党合意を反故にするようなことはせずに、堂々と議論に参加する成熟した政党になって頂きたいと思います。

また、イラクの多国籍軍参加についても、国際貢献や人道復興支援上、引き続き自衛隊に活動して頂くことが



安部幹事長迎え、佐賀駅南口で街頭演説

望ましいと考えます。しかし、きちんとした手続を経ることは必要だったでしょう。

景気も大きな争点の一つでした。マクロ的に見ると、景気は確実に回復してきており、小泉政権の構造改革の成果は現れてきていると言えます。しかしながら、佐賀県ではいまだ景気回復の兆しをほとんど見いだすことはできない状況にあります。東京を中心に景気は回復してきていますが、その波を地方まで持ってくるためには政治の力も必要です。国家財政が逼迫し地方交付税等も削減される中、雇用の維持のためだけではなく、新たな付加価値を生み出すような分野・領域を見定め、効率のいい予算配分をしていく必要があると思います。



非常に厳しかった 佐賀県第一選挙区内

これまで、自民党組織が強いと言われてきた九州地区。七つの一人区で、自民党は三勝四敗(民主・民主系無所属)と負け越しました。特に、都市部で組織型選挙の限界がでてきており、どこも非常に厳しい数字となっています。

私が活動をしている佐賀二区は、県内の有権者数一位の佐賀市、二位の鳥栖市を含むため、佐賀県の中では都市型の投票行動が出やすい地区であるといえます。参院選で

は、佐賀市で約一万二千票、鳥栖市で約三千票と、二市合わせて約一万五千票の大差をつけられました。そして、その票差がほぼ一区の票差となったわけです(票数は、別表をご参照ください)。

第20回 参議院選挙投票結果(岩永・川崎・武藤)

市町村名	岩永 (自民)	川崎 (民主)	武藤 (共産)
佐賀市	26,140	38,251	8,686
鳥栖市	10,796	14,049	2,839
千代田町	3,244	2,551	566
基山町	3,879	4,400	857
中原町	1,766	2,089	348
北茂安町	2,426	2,524	485
三根町	1,879	1,691	313
上峰町	2,406	1,693	301
一区計	52,536	67,248	14,395

選挙中から世論調査などで状況が芳しくないこともあって、支援者の方々と各市町村の自民党支部の方々には、各組織への浸透の徹底、電話などによる呼びかけなど本当に活発な選挙活動を行って頂きました。しかし最大限の活動をして頂いても、佐賀二区で勝てなかった訳です。これは、民主が現職の衆議院議員を有するのに対し、私が苦杯をなめていることも大きな一つの要因として深く反省しております。また、国民全体の組織への帰属意識が希薄化してきており、支援団体等への浸透が図りづらくなっていること、その時々で投票行動を変えるい

わゆる「無党派層」の増加と、その方が自民党よりも民主党に流れていることなどが挙げられると思います。

このたびは非常に厳しい結果を頂きましたが、次の衆院選に向けての課題が浮き彫りになったとむしろプラスに受け止め、対策を講じていきたいと思えます。選挙時には色んな風が吹きます。フォロワー(順風)もあれば、アゲインスト(逆風)もある。風頼みだけでは、逆風の場合には勝てません。しかし、つねに「風向き(世論)」を把握しながら、逆風の場合はヨットのようにならなければならぬ。逆風の場合はヨットのようにそれを推進力に変えるような、フレキシブルに対応できる組織を作り上げることができればと思います。



個人演説会場で地域の方々に前に

「世界の中心で愛をさげぶ」を見て

皆さん「セカチュウ」ってご存じですか？片山恭一さんによる小説「世界の中心で愛をさげぶ」の略称だそうです。小説は三百万部を突破し、映画化やドラマ化もされました。私も小説を買い、一気に読み上げました。

主人公の朔太郎とアキ。この二人の純愛を描く内容ですが、高校生で白血病にかかってしまうアキと、そのアキを心から大切に思う朔太郎の心の動きが克明に描かれています。

「命が限られているのって、なんだか不思議な気分ね。当たり前のことなんだけど、普段は当たり前前を当たり前と感じずに生きていくから」と死に直面してアキは心の平静を保てなくなり泣きます。そして、「いまここにあるものだけが、死んでもからもありつづけるんだと思うわ。」と永遠の愛の存在を信じることで死を受け入れようとしています。

そんなアキの心の葛藤に直面し、朔太郎もがき苦しみます。オーストラリアへの旅行を計画するも、実現することなくアキが亡くなる。そして途方に暮れる朔太郎に祖父がこう言います。「人生の美しさというものは、実現しなかったことに対する思いによつて、担われているんじゃないだろうか」。



イラスト：堤 理恵さん

我々が普段何気なく享受し、それが当たり前だと思っていることの多くは、それを失うときにその大切さに気づくものかもしれません。しかしながら、私たちは少なくとももありがたみを感じながら生きていかなければいけない。そして、実現するしないにかかわらず、思いを持ち続けて生きていくこと……このことをこの本から教えてもらった気がしました。

マロウズ カフェ vol.1

今回から後援会の方々のご意見を掲載するコラムコーナーを設けました。題して「マロウズカフェ」。第一回目は山崎誠さんで、福岡たかまろを支える若手を中心人物です。このコーナーを通じてまた新たな人のつながりが生まれればと思います。よろしく願います。

「政治を身近なものに」



たかまろTV
映像ディレクター

山崎 誠

いろいろな論客を生み出したことで人気の某討論番組が「プロ野球」をテーマに話し合った。ここには現役選手、評論家、近鉄買収に名乗りを挙げたITベンチャー

企業長の社長も顔を揃えた。発足以来七十年目を迎えた日本のプロ野球も、長年の垢がたまり、もはや制度的にも弊が生じてきているようだ。拙速な合併、リーグ移行の判断はプロ野球界の利になるとはとても思えない。

この中で、IT社長が興味深い話を披露した。プロ球団を所有する企業に関する優遇税制のことである。これは政治的思惑と企業の利益が絡むことで作り

上げたある意味不公平な制度だと言う。しかし、この制度こそ国民的娯楽であるプロ野球の興隆の因でもあったと私は思う。これは政治と私達の生活が気づかないところで微妙に絡んでいる事例だと言える。

政治を語るのは難しいからか、それとも話題として面白くないからか、昨今若者が政治に無関心だと言われている。おそらく直接的に政治に関心をもつように促しても効果は薄い。上述のような身近な話題を切り口に政治が実生活に絡んでいることを知れば、少しは興味や関心を持つきっかけになるだろう。

たかまろ氏の主張の二つに「政治を身近なものにしたい」というものがある。私はその志に共鳴して彼の活動に参加した。彼とともに政治に参加しよう！そして政治を身近なものにしよう！そのため、まずはたかまろ氏と出会い、語り、議論し、交流をしていく中で若者が自然に政治に興味を抱き関心を持つことができるような場づくりが大切だと思う。



2003.10.24
若手による語らいの場
「marrows cafe」の様

剣道五段に昇段

六月二十日に高志館高校で剣道の昇段審査が行われ、無事五段に昇段しました。昇段審査は、筆記(論述)、形、稽古の三つの審査からなります。受験に際し、稽古をつけて頂き、ご指導頂いた多くの方々に感謝すると共に、五

段に恥じない「気構え」を日常生活でも持つことができるように頑張っています。



鳥栖山笠を曳く

七月二十五日、鳥栖祭りの山笠に本通の連から参加させて頂きました。七五年以上もの伝統があるといわれるこの山笠の沿道からも多くの方が力水をかけて声援頂き、楽しい体験ができました。このようない行事を通じて、地域の方々との懇親はもとより、各地域への理解を深めていきたいと思えます。



田植えに挑戦

六月二十八日にJA神埼郡城田支部青壮年部盟友の方々と一緒に田植えを体験。ご指導頂きながら、田植機の運転までさせて頂き非常に貴重な体験ができました。その後、青壮年部の方々とお昼をご一緒させて頂きましたが、作業後のビールの味は最高でした。今後も、折に触れ、このような体験を通じて農業も勉強していきたいと思えます。



留学生に剣道を体験してもらおう

七月二十五日、私が会員を務める特定非営利活動法人「地球市民の会」が主催し、金立いこいの広場で行われていた国際交流キャンプで参加者の方に剣道を体験して頂きました。韓国や台湾から十七名の大学生が参加される中、佐賀短期大学の池田先生や学生さんと共に約一時間半剣道を通じて交流を深めました。各国の伝統文化を通じて相互理解を図ることは、意義のあることだと感じました。



第一回 たかまろう政経フォーラム

六月十二日、エスプラッツホールで第一回たかまろう政経フォーラムを開催致しました。当日は、お忙しい中約九十名の方々にご参加頂き、私の大学の恩師である国分良成先生に「中国の台頭と日本」と題して講演頂きました。

中国の現状をふまえ、今後の日中関係などについて大変貴重なお話を伺うことができました。現在、日中両国はいろんな問題を内包していますが、今後の東アジアの安定・繁栄のためには両国が連携を図っていく必要があることを力説されました。先生の講演の要約につきましては、ホームページ(www.takamaro.jp)のコラムコーナーに掲載しておりますのでご参照ください。また、ご希望の方にはfaxや郵送もさせて頂きます。



第2回

たかまろう 政経フォーラム開催

演題 「若手議員が永田町を斬る」

講師 後藤田 正純先生



1969年(昭和44年)8月5日生まれ
 ● 学歴 1993年 慶應義塾大学商学部卒業
 ● 職歴 第42回衆議院選挙において徳島3区より初当選(現在2期目)
 ● 所属委員会 農林水産委員会
 ● 党役員 米国同時多発テロ事件対策本部情報収集等検討チーム 北東アジアエネルギー協力プロジェクトチーム事務局長 ほか

いろんな分野から先生をお招きし、私も皆様方とともに「高まろう」という試みで、年に4~5回開催する「たかまろう政経フォーラム」。第2回目は9月25日(土)。講師は、若手の国会議員として活躍されている後藤田正純先生。是非ご参加ください。

日時 平成16年**9月25日(土)**
15:00~(約1時間半程度)
 場所 **エスプラッツホール**
 会費 **500円**

※ 尚、お車でお越しの場合の駐車料は各人のご負担になります。ご了承ください。



今回で二回目を迎えた「たかまろうクッキング」。
 料理が趣味のたかまろうが、男性でも簡単にできるお料理をご紹介します。



「アスパラとパルメザンチーズのリゾット」

- 材料 ●
- 白米(1/2カップ)
 - アスパラ...2本(軽く下ゆでしておく)
 - タマネギ...8分の1(みじんぎり)
 - バター...30g
 - オリーブオイル...少々
 - チキンブイヨン...カップ2(固形スープをお湯に溶かしたもの)
 - 白ワイン...大さじ2
 - パルメザンチーズ...大さじ3~4
 - 塩・こしょう...少々
 - 小ネギ(彩り)...少々

- ① 小型鍋に、バター、オリーブオイル、タマネギを入れ中火にかける。
- ② タマネギが透き通ってきたら、白米を入れ、米が透き通るまで炒める。
- ③ 白ワインを入れ、風味を付けながらアルコールを飛ばす
- ④ チキンブイヨンを半分入れて煮る。水気がなくなったら、残りのブイヨンを少しずついれながら煮る。(中心にやや芯が残るくらい)
- ⑤ 適当な大きさに切ったアスパラ、パルメザンチーズを入れ、塩・こしょうで味を調える。
- ⑥ お皿に盛り、小ネギを彩りに少し置く

作業風景



事務所スタッフ紹介

福岡たかまろう事務所では、現在五名(佐賀事務所四名、鳥栖事務所一名)の常勤スタッフと一名の非常勤スタッフの計六名で活動しています。
 事務所のスタッフを二名ずつご紹介致します(今回は二回目)。



今村 信行

鳥栖事務所(鳥栖市と三養基郡五町担当)の今村信行です。住まいは鳥栖市萱方町で、昭和三十五年

生まれで、二人の男の子の父親です。趣味はスポーツと旅行で、子供と休みの日が重なるとうよく公園へ行き、サッカーやキャッチボールなどをして心身のリフレッシュをしています。

資磨さんとは、年齢では一まわり程度違いますが、毎日真剣に目標を持って活動されている姿に、色々と教えられることが多く、一人でも多くの方に資磨さんの思いを理解してもらおうべく、日々活動をしていますので、今後ともよろしくお願い致します。



宮崎 照行

事務所最年少(二十八歳)の宮崎照行です。今年の五月から勤務するようになり三ヶ月になろうとして

います。この三ヶ月間は覚えることや勉強することが多くあり、あつという間に過ぎました。資磨さんとは年齢も近いこともあり良く行動を共にさせてもらっています。日々の活動において一緒に喜び、悩み、考えながら視野を広げ成長していきますので資磨さん共々見守って頂ければと思います。

おわりに

事務所にミニ農園を作っています。といっても、プランターやバケツでの栽培ですが。現在、稲(うるちとモチの両方)と、枝豆(茶豆)、ズッキーニを栽培中ですが、毎日目に見えて成長していき、まさに「命の力」を感じさせてくれます。

植物が日光や水分、栄養分を毎日吸収して大きくなるように、私も毎日の色んな体験、皆様との会話、勉強などで自分を日々成長させなければと思います。

たかまろう通信の表紙のロゴにも使われている私のシンボルマーク。私のインシヤル「T」と「F」をデザインし、大地にしっかりと根を張り、天に向かって伸びようとする若葉を表しています。皆様方の声を養分としてしっかりと受け止め、固づくりの生かせるように頑張っています。

六月の竜巻による被害、七月の中央本町の火災被害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。災害復旧の体制確立など、皆様方に安心して暮らして頂ける社会の構築のためにも今後とも努力して参ります。

サポーター募集中です!!

皆様方のお支えがないと日々の活動ができません。たかまろうサポーターズ・クラブの会員を募集しています。

年間2000円から(千円単位)受け付けております。サポーターの方には「たかまろう通信」を郵送いたします。(郵送先は、電話もしくは、メール、ハガキ等でお知らせください)知人等にも是非お声がけください。よろしくお願致します。

振込口座

佐賀銀行 県庁支店 普通 1480907
 「たかまろう21」福岡 資磨

※この口座は公職選挙法により個人献金しか受けることができません。
 ※企業での献金につきましては、別途届出団体にて受けておりますので、後援会事務所に一報いただければ存じます。

発行/福岡たかまろう後援会 ※ いろいろなご意見、ご案内を是非お寄せください。

〒840-0804 佐賀市神野東3丁目2番13号
 TEL0952-30-0555
 FAX0952-30-0700
 e-mail takamaro@takamaro.jp

鳥栖事務所 〒841-0052 鳥栖市宿町1436
 TEL0942-82-3801
 FAX0942-82-3345